
『まだ』の彼

ユキヤナギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『まだ』の彼

【Nコード】

N3047Y

【作者名】

ユキヤナギ

【あらすじ】

二人きりの私と彼。そんなとき、彼が私にお願いしてきたことは――。

幼馴染みの亮也が遊びにきた。家が近く、同じ高校、同じクラスの彼が私の家に来るのは珍しくないことだけど、今日の彼の様子はどこかおかしい。

「なあ、亜衣」

「ん？」

ベッドに腰を降ろした私を彼は何故か見ようとしなない。

「どした？」

「お、お前さ」

なかなか先を言わないのが焦れたい。さっさと言いなさいよ、男らしくない。

「何？ 言いたいことあるなら早く言っちゃいなさいよ。今、家に私たちの他に誰もいないんだし」

「あー、その――」

一瞬目があつた。

「お前って、もうやったの？」

「……は？」

「だ、だからさ」

顔を赤らめる亮也。……なるほど。こいつまだだったんだ。いいことを知った。ここはちょっとからかってやろう。

「あつれ〜？ 亮也君ってもしかしてまだなの〜？」

「う……」

「サッカー部のエースで、女子にモテモテの亮也君がねえ〜」

「うっせーな……。お前はどんなんだよ」

無謀にも反撃してくるとはね。私とあんたの格の違いというものを思い知らせてやらなくちゃ。

私はベッドから降り、亮也の耳元で囁いてあげた。

「もう……やったよ」

離れて再びベッドに腰を降ろすと、亮也が目を見開いたまま固まっていた。かなりショックを受けているらしい。おもしろいなあ。

「もう子供だった頃とは違うの。今の私は大人の私」

「……亜衣。頼みがあるんだけど」

上目使いで私を見てくる彼。……可愛い。可愛過ぎる。これが母性本能を刺激されるということなのかも……。

「何？」

「……見せて欲しい」

「何を？」

「え？」

まさか聞き返されるとは思ってもみなかったようで、亮也はたじろいでいた。

「いや……その……」

「よく聴こえない」

「くっ……」

口にするのが恥ずかしいのか、なかなか先を言わない亮也。なんだろうこの気持ち。いま気づいたけど、私Sだ。

「さあ、言ってごらん。何を私に見せてほしいのか」

「亜衣のを……見せてください」

視線をそらしながらボソツと言うその姿に、私は自分の顔が高揚するのが分かった。この子、タメのくせにどこか守ってあげたくなる何かを持っている。

「いいよ」

頑張って男のプライドとやらを捨てた亮也君には、ご褒美をあげなくちゃね。

「私を見せてあげる」

私を見る亮也が唾を呑み込んだのがわかった。素直な奴。

「ありがと……」

「でも、貴方だから見せてあげるんだから、そこんと勘違いしないでね」

「わかった……」

「じゃあ、こっちおいで」

私が手招きすると、彼は座っていたカーペットから立ち上がり、ベッドの上、私の横に座った。

感謝しなさい。貴方に初めて見せるんだから――。

「はい、宿題のレポート」

私は、ベッドの横の勉強机から取り出したレポートを亮也に渡した。

「サンキュー、亜衣！」

さっきの健気な態度とは一転していつもの調子に戻っていた。現金な奴……。

「それ、頑張って書いたんだからね？　ありがたく、一文字一文字感謝の意を込めて写してよ？」

「わかってるって！　ああ、これからは亜衣がいる方角に足に向けて寝れないな！」

「そんなのどうでもいいから……。いつか今度、例のお店の”超絶マロンソフト”奢ってよ！？　絶対よ！？」

「はいはい」

因みに、私が彼のことを好きなのは、まだ誰も知らない。

(後書き)

え、騙された？

何のことでしょう…？

この作品、間違いなく黒歴史決定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3047y/>

『まだ』の彼

2011年11月8日01時13分発行